



2018年1月31日

各位

会社名 アステラス製薬株式会社
代表者 代表取締役社長 CEO 畑中 好彦
コード番号 4503
(URL <https://www.astellas.com/ja>)
東証 (第一部)
決算期 3月
問い合わせ先 広報部長 臼井 政明
Tel: (03)3244-3201

2017年度第3四半期の連結業績について

アステラス製薬株式会社(本社:東京、以下「アステラス製薬」)は、2018年3月期(以下「2017年度」)第3四半期累計期間(2017年4月1日から2017年12月31日)の連結業績を発表しましたので、お知らせします。

【当第3四半期累計期間の業績ハイライト】

- グローバル皮膚科事業の譲渡(2016年4月)および日本における長期収載品の譲渡(2017年4月)等の影響により、売上高(前年同期比0.6%減)、コア営業利益(同8.8%減)は減少。上記事業譲渡および為替の影響を除くと売上高(同1.3%減)、コア営業利益(2.6%減)は減少。
- 主力の前立腺がん治療剤 XTANDI®/イクスタンジ®、過活動膀胱(以下「OAB」)治療剤ベタニス®/ミラベトリック®/ベツミガの売上が引き続き伸長。
- フルベースの連結業績は、第2四半期までに発生した開発プロジェクトの計画見直しおよびアジェンシス社の研究活動終了の決定に伴う減損損失等の計上により、営業利益(同22.3%減)、四半期純利益(同20.2%減)は減少。

アステラス製薬の代表取締役社長 CEO の畑中 好彦は、次のように述べています。「当第3四半期は、前立腺がん治療剤 XTANDI®/イクスタンジ®などの主要製品がけん引し、ビジネスは順調に推移しました。また、この四半期の主な取り組みの一つとして、昨年12月に米国の Mitobridge 社を完全子会社化する独占的オプション権を行使し、本年1月に同社の買収を完了しました。本買収を通じ、アステラス製薬はミトコンドリア関連疾患における研究開発をさらに加速していきます。このように、私たちは経営計画で掲げる『製品価値

の最大化』『イノベーションの創出』『Operational Excellence の追求』の3つの戦略課題への取り組みを引き続き推進し、革新的な医療ソリューションを創出していくことで、患者さんをはじめとしたステークホルダーに価値を届けていきます。」

＜連結業績(2017年4月1日から2017年12月31日):コアベース＞(単位:百万円)

	前第3四半期累計 (2017年3月期)	当第3四半期累計 (2018年3月期)	増減額 (増減率)
売上高	1,005,587	999,443	△6,144 (△0.6%)
コア営業利益	241,837	220,459	△21,378 (△8.8%)
コア四半期純利益	177,189	167,877	△9,312 (△5.3%)

【売上高の状況】

売上高は、2016年4月に行われたグローバル皮膚科事業の譲渡および2017年4月に行われた日本における長期収載品の譲渡等の影響により、9,994億円(前年同期比0.6%減)となりました。

- がん領域フランチャイズ

XTANDI®/イクスタンジ®の売上高は2,199億円(同16.2%増)となりました。日本、米州、EMEA*1およびアジア・オセアニアの全ての地域で売上が順調に拡大しました。

- 泌尿器 OAB フランチャイズ

ベタニス®/ミラベトリック®/ベットミガの売上高は931億円(同30.0%増)となりました。日本、米州、EMEAおよびアジア・オセアニアの全ての地域で売上が増加しました。一方、ベシケア®の売上高は785億円(同12.1%減)となりました。

- 移植フランチャイズ

プログラフ®の売上高は1,502億円(同5.6%増)となりました。日本、EMEAおよびアジア・オセアニアで引き続き伸長しました。

- その他の新製品・主要製品の状況

日本市場では、消炎鎮痛剤セレコックス®、成人気管支喘息治療剤シムビコート®、2型糖尿病治療剤スーグラ®、成人関節リウマチ治療剤シムジア®等が引き続き成長しました。また、2016年4月に高コレステロール血症治療剤レパーサ®、2017年3月に便秘型過敏性腸症候群治療剤リンゼス®を新発売し、市場への着実な浸透を図っています。米州では、アゾール系抗真菌剤クレセンバの売上が拡大しました。

(主要3領域の売上高)

(単位:億円)

	前第3四半期累計 (2017年3月期)	当第3四半期累計 (2018年3月期)	増減率
がん領域フランチャイズ	2,323	2,608	+12.3%
XTANDI®/イクスタンジ®	1,892	2,199	+16.2%
泌尿器 OAB フランチャイズ	1,609	1,716	+6.6%
ベシケア®	893	785	△12.1%
ベタニス®/ミラベトリック®/ベットミカ®	716	931	+30.0%
移植フランチャイズ	1,422	1,502	+5.6%

<地域別の売上高*2>

日本と EMEA は減少、米州とアジア・オセアニアは増加しました。このうち日本市場での売上高は、2017年4月に行われた長期収載品16製品の譲渡および2017年6月に高血圧治療剤ミカルデイス®の後発医薬品が発売された影響等により3,090億円(同13.7%減)となりました。また、EMEAは2016年4月に行われたグローバル皮膚科事業譲渡の影響により減収となりましたが、その影響を除くと増収となりました。

【2017年度連結業績予想(コアベース)】

2017年10月に公表しました業績予想から大きな変動が見込まれていないため、これを据え置き修正していません。

【当第3四半期における戦略課題への取り組み】

アステラス製薬は、『製品価値の最大化』『イノベーションの創出』『Operational Excellence の追求』への取り組みを通じて、中長期にわたる持続的な成長を目指していきます。

<製品価値の最大化>

- XTANDI®／イクスタンジ®を中心とするがん領域フランチャイズおよびベシケア®とベタニス®／ミラベトリック®／ベットミガを合わせた OAB フランチャイズの最大化のため、引き続き販売地域および売上を拡大
- 2017年10月、テルミサルタン製剤(ミカルデイス®ファミリー)に関する販売契約を延長
- 2017年11月、DPP-4 阻害剤シタグリプチンリン酸塩水和物と SGLT2 阻害剤イプラグリフロジン L-プロリンの配合剤について、MSD と日本におけるコ・プロモーション契約を締結

<イノベーションの創出>

- 2017年10月、アステラス製薬、田辺三菱製薬および第一三共によるドラッグリポジショニング化合物ライブラリーを用いた新薬探索プログラム「JOINUS」を開始
- 2017年10月、Universal Cells 社と、新規細胞医療に関する共同研究契約を締結
- 2017年12月、Mitobridge 社を買収するオプション権を行使(2018年1月、買収完了)

当第3四半期における主な開発の進展は以下の通りです。

- 2017年10月、日本人の慢性腎臓病に伴う貧血患者を対象としたロキサデュスタットの第III相試験で良好な有効性評価を取得
- 前立腺がん治療剤「ゴナックス®皮下注用」12週徐放性剤:日本で承認申請(2017年11月)

以上

*1 EMEA: 欧州・中東・アフリカ

*2 地域別売上高: 売上元会社の所在地に基づき集計しています。

注意事項

このプレスリリースに記載されている現在の計画、予想、戦略、想定に関する記述およびその他の過去の事実ではない記述は、アステラス製薬の業績等に関する将来の見通しです。これらの記述は経営陣の現在入手可能な情報に基づく見積りや想定によるものであり、既知および未知のリスクと不確実な要素を含んでいます。さまざまな要因によって、これら将来の見通しは実際の結果と大きく異なる可能性があります。その要因としては、(i) 医薬品市場における事業環境の変化および関係法規制の改正、(ii) 為替レートの変動、(iii) 新製品発売の遅延、(iv) 新製品および既存品の販売活動において期待した成果を得られない可能性、(v) 競争力のある新薬を継続的に生み出すことができない可能性、(vi) 第三者による知的財産の侵害等がありますが、これらに限定されるものではありません。また、このプレスリリースに含まれている医薬品(開発中のものを含む)に関する情報は、宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。